

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	養父市 (28222)
地域名 (地域内農業集落名)	浅間 (浅間)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	19.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	19.4 ha
② 田の面積	19.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.6 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1.6 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	6.5 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	4.6 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> ○区域内における70歳以上の農地面積が6.5haあり、うち後継者不在の農地が半分以上を占める4.6haとなっている。新たな担い手の確保が必要。 ○急傾斜農地の草刈りが重労働になっている。 ○多面的機能支払交付金を活用し、水路や農道の補修を行っていく。 ○現在、ため池(峠下池)の補修を行っており、引き続き維持管理していく。 ○獣害防護柵の補修・管理を継続して行う。 ○農道・水路・法面・ほ場の規格等、土地改良が必要な所もあるので、再基盤整備を検討しながら地域計画を更新していく。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> ○当地区は、水稻の作付けが中心であり、今後も継続する方針。 ○コウノトリ育む農法を盛んに行っており、今後も環境に配慮した稲作を継続する。 ○水稻以外の農地の利用を検討する。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
認定農業者への農地の集積・集約化を図っていく。 中規模農家(1ha以上)の育成を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	28 %	将来の目標とする集積率	28 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
認定農業者に農地集積を行い、団地化を行っていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
地区内農地の集積・集約化を目指し、原則として農地中間管理機構に農地を貸し付けていく。 病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、地域計画の見直しを行い、農地中間管理機構を通じて担い手へ農地の貸付けを進めていく。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
認定農業者の経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。
(3) 基盤整備事業への取組
急傾斜法面の草刈りが困難であり、法面の小段設置などを検討する。 多面的機能支払交付金を活用し、水路・農道の補修を計画的に行っていく。 法面や水路・農道の再整備のため、再基盤整備を検討する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域農家の高齢化が進んでおり、地域内で若手就農者を育成するとともに、地域外から担い手の呼び込みを検討する。 中規模農家(1ha以上)の育成を進める。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害防止対策
金網柵の点検を区全体で年2回行い、定期点検は農会の関係者で行っている。
多面的機能支払交付金を活用しながら補修を行っている。
- ②有機・減農薬・減肥料
コウノトリ育む農法を継続的に行う。
- ⑤農地の利用として、水稲以外の作物の導入を検討する。
- ⑧農業用施設の維持
水路・農道の点検を年1回行い、多面的機能支払交付金を活用しながら補修を行っている。
大型修理等、再基盤整備を検討する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者	水稲	0.861 ha	ha	水稲	0.861 ha	ha	灰	
2	利用者	水稲	0.168 ha	ha	水稲	0.168 ha	ha	灰	
3	利用者	水稲	0.94 ha	ha	水稲	0.94 ha	ha	緑	
4	利用者	水稲	0.517 ha	ha	水稲	0.517 ha	ha	灰、赤	
5	利用者	水稲	2.171 ha	ha	水稲	1.987 ha	ha	灰	
6	利用者	水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	緑	
7	利用者	水稲	0.606 ha	ha	水稲	0.606 ha	ha	灰、赤	
8	利用者	水稲	0.525 ha	ha	水稲	0.38 ha	ha	灰	
9	利用者	水稲	0.878 ha	ha	水稲	0.878 ha	ha	緑、赤	
10	利用者	水稲	2.078 ha	ha	水稲	1.713 ha	ha	赤	
11	利用者	水稲	0.119 ha	ha	水稲	0.119 ha	ha	青	
12	利用者	水稲	0.57 ha	ha	水稲	0 ha	ha	赤	
13	認農	水稲	6.081 ha	ha	水稲	6.081 ha	ha	青	
14	利用者	水稲	0.173 ha	ha	水稲	0.173 ha	ha	緑	
15	利用者	水稲	0.106 ha	ha	水稲	0.106 ha	ha	緑	
16	利用者	水稲	0.129 ha	ha	水稲	0.129 ha	ha	灰	
17	利用者	水稲	0.143 ha	ha	水稲	0 ha	ha	赤	
18	利用者	水稲	0.654 ha	ha	水稲	0.654 ha	ha	緑	
19	利用者	水稲	2.809 ha	ha	水稲	2.809 ha	ha	緑	
20	利用者	水稲	0.244 ha	ha	水稲	0 ha	ha	赤	
	計	20経営体	19.97 ha	0 ha		18.32 ha	0 ha		